

# 茨木市障害者地域自立支援協議会定例会(第133回)議事録

令和7年3月21日(金)10:00~

於:本館6階第1会議室

司会:ゆうあい、ひまわり

## 1 2月事務局会議の報告について

【資料①】2月事務局会議議事録

【資料②】全体会振り返りシート

議事録参照。

## 2 定例会メンバーからの報告・意見交換

(11月定例会シートからの追加事項)

### ○茨木市障害福祉サービス事業所連絡会

3月7日 権利擁護虐待防止研修

テーマ「事業所における権利擁護・虐待防止委員会の役割と意思決定支援」

講師 杉の子会 常務理事

居宅介護部会:ほくせつ24

居住等施設部会:グループホームふらわあ~/ぶるーむ

日中活動系部会:ハートフル

### ○就労支援部会

1月 就労支援についての研修

・企業の取組について話を聞いた。実情が理解できてよかったとの感想があった。

・新たな取組として、B型の事業所が研修会場の入口にてコーヒーを販売。

B型事業所の工賃アップにもつながった。

## 3 令和7年度第1回全体会について

【資料③】R7第1回全体会資料(様式)

○各部会・PT 振り返りシート・企画シート

○相談支援対応件数

## 令和7年度自立支援協議会について

【資料④】R7自立支援協議会予定表

○開催場所

定例会をハートフルにて開催

○開催形態

ハイブリット形式(対面・Zoom どちらでも対応可)

※グレー塗りつぶしの月は、基本開催せず、必要に応じて開催

【資料⑤】R7 各部会・PT 役割分担表

【資料⑥】R7 共同事務費 輪番表

令和7年度の担当:相談支援センターあい・あい

#### 4 その他

○相談支援体制の変更について

令和7年度から菜の花障害者相談支援センターが、基幹相談支援センターの位置づけから外れる。

指定特定相談支援事業所は引き続き継続。

自立支援協議会に関しては、従来委託として参加してもらっていたが、主任相談支援専門員としての協議会での役割等を議論していくため、引き続き定例会には参加していただく。

(質疑応答)

・菜の花とは別に基幹を委託する予定はあるか。

→新たに基幹を委託することは考えていない。

・茨木市の相談支援体制を議論して、良い形にしていく必要がある。他市では基幹を丸ごと委託しているところもある。どのようなあり方がよいのか、協議会にて議論していく必要があるのではないか。

→市の方針を決めたうえで、協議会にて意見をもらう。

○地域生活支援拠点 PT について

・拠点リストの登録マニュアルを福祉総合相談課にて作成し、HP も掲載準備中。

・障害福祉課で作成した加算一覧も掲載予定。

・人材育成については、ハートフルと障害福祉課で行っている。

令和7年5月実施に向けて準備中。

・コーディネーターの役割の明確化について、国通知の内容を PT で確認した。

引き続き検討、検証を行っていく。

○相談支援部会より

前回の部会にて、地域課題について話し合いを行った。

山間部や西の地域（沢池等）はスーパーが少なく、バスも少ないため、ヘルパーに来てもらえない現状にある。

タクシーが不足している。バリアフリータクシーは予約ができないなどの問題も出ている。

同じような地域では、どのように対応しているのか。

→箕面が彩都西に近いので、どのような状況であるか聞くのがよいのではないかと。

○来年度の定例会の参加について

対面とオンラインのハイブリット形式となるが、ほとんどの機関が対面での参加を希望。

設営をする際に準備が必要となるため、事前に連絡をしてほしい。

○定例会の活性化について

・グループワークを過去に行っていたことがある。

相談員だけでなく、様々な機関の方と地域課題について、テーマを決めてグループワークをしていた。

・課題解決に向けてワーキングを作成するが、そのあとがはっきりしていない。

・茨木市は他市に比べて部会が多い。他市では部会よりもワーキングが多い。

・他市を参考にしながら、今後も議論していく。

・部会の事務局に関して、本来深くかかわっている専門性のある機関が座長をするべきではないかと。

・年ごとではなく、企画ごとに座長、事務局は変えない方がよいのではないかと。

・事務局、定例会の在り方、グループワークの内容含めて、今後検討していく。

○次回の定例会は、令和7年4月24日（木）10時～

場所：ハートフル3階交流室

開催形態：ハイブリット（対面・Zoomどちらでも可）

進行：りあん